

ヘルペス (Epstein-Barr ウイルス感染)

https://l-hospitalier.github.io

2017. 2

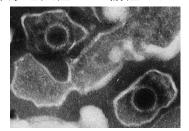
【EB Virus*1の再活性化】ヒトヘルペスウイルス(HHV)8種類は2本鎖DNAウイルス。へルペス(herpes)とは、ギリシャ語の「這う、蛇(serpent 英)」に由来。 モンスーン地帯で水田耕作をする農耕民族は乳児の水没事故を防ぐため、おぶって育てる習慣があり、母親が振り向くと唇が接触、EBVは唾液を介して垂直感染するため幼児期にほぼ全員が不顕性感染。 牧畜民族は乳児をクリブ(飼いば桶)で育てるので成人に近づいてからのキスによる初感染は咽頭炎、発熱、肝機能障害などの症状を呈する伝染性単核球症:IM(infectious mononucleosis、キス病)を発

1型 単純ヘルペス	口唇ヘルペス、口内炎
2型 単純ヘルペス	性器ヘルペスなど
3型 Varicella-Zoster	水痘・帯状疱疹
4型 Epstein-Barr	伝染性単核症(IM)
5型 Cytomegalovirus	肺炎、網膜炎
6型 ヒトヘルペス 6	突発性発疹、脳炎
7型 ヒトヘルペス7	突発性発疹
8型 ヒトヘルペス8	カポジ肉腫

病。 IM では免疫系の異常亢進が見られ、ペニシリン系の抗生剤に対して強いアレルギー反応を呈するので、ABPC は禁忌。 Cytomegalovirus (CMV, HHV-5 は特徴的な巨細胞を産生するので命名) や Epstein-Barr, HHV-4 はヒトが自然宿主。 EBV の主要な抗原は EB ウイルスのカプシドに存在する virus capsid antigen, VCA でその他に早期抗原

(early antigen, diffuse and restricted type, EA-DR) と感染細胞の核の抗原 EBV-associated nuclear antigen (EBNA) がある。 EA (-DR) はウイルス DNA 複製が始まる前に感染細胞で産生される蛋白質。 有効薬は無く通常は自己限定的で治癒する【慢性活動性 EB ウイルス感染症】Chronic Active Epstein-Barr Virus infection: CAEBV*2 や二次性の血球貪食症候群 (Hemophagocytic syndrome; HPS*3) を起こすと治療法がなく死亡率が高い。 EBV-AHS (イービーヴァース EBV associated hemophagocytic syndrome) は EB による、最重症型の HPS。 ヘルペスウイルス科の varicella-zoster virus:VZV、CMV や EB は一度感染するとホストの遺伝子に一部が組み込まれ、高齢化や HIV で免疫が衰えると再活性化を起こすことが知られている。 診断は EBNA 抗体陽性で初感染を否定し、EB-VCA の IgG 抗体異常高値 (640 倍以上) やペア EB-VCA (IgG) 抗体で(4 倍以上の上昇、保険は EB 抗体 1 種類)で暫定的に判定。 CAEBV の診断は EB-VCA 高値と Real-Time PCR でウイルス数を確認する。 【EB と腫瘍】 EB は発見の端緒となったバーキット腫瘍だけでなくリンパ球 B 細胞の腫瘍化を引き起こすことが知られていて、慢性疲労症候群、ホジキンリンパ腫、上咽頭癌、老人性 EBV 陽性びま

ん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫、膿胸関連リンパ腫などが関係する。 右、円形が EB Virus。 CMV も発熱など IM と類似症状を起こすが、TORCH シリーズで新生児発達障害の原因としてダウン症に次ぐ。 ホスカルネット、ガンシクロビルが有効とされ研究中。



*¹ヒトヘルペスウイルス 4型 (HHV-4) のこと。アフリカの子供の顎にできる腫瘍を Dennis P Burkitt が報告 (1958) 、 Michel A Epstein と Yvonne Barr はバーキット・リンパ腫の細胞培養に成功(1964)、電顕でウイルスを発見して報告、E-B ウイルスと呼ばれる。*²CAEBV の基準は VCA-IgG 640 倍以上、EA-IgG 160 倍以上が目安。 成人スティル病と鑑別が必要。*³本来人間をまもるべきマクロファージや好中球といった免疫細胞が暴走し、自らの血球(とくに血小板)を食べてしまう病態。

#78